



訪れたいまち

三重県伊勢志摩

三重県南東部に位置する伊勢志摩は、全国に先駆けてバリアフリー観光を推進しています。その活動が観光客の誘致のみならず、交通・福祉・教育など各分野に横断的に発展したことにより「第1回バリアフリー化推進功労者大臣表彰」を受賞したNPO法人伊勢志摩バリアフリーツアースセンターを訪ねてみました。

観光事業再生のため

「将来まで残る何か」を作る

事務局長の野口あゆみさんは、目のくりくりした小柄な女性。タウン誌の記者兼編集者をしていた頃、実際に車を操る人を初めて見た。それが、今は夫となっている幸一さん。一緒に外出した時に「ホントは障がい者も外に出て遊びたいのやけど、情報がないから出られへんのさ。君らはいっぱい情報を発信してるつもりやろけど、おれらにとっては何の役にも立たへん」と言われたそう。健康者の彼女には目から鱗。そのひと言をきっかけに「おでかけチェアウォーカー」（伊勢志摩バリアフリーガイド）を発行。制作に協力してくれた仲間と地元障がい者のためのまちづくりを始めた。その活動が、低迷していた伊勢志摩の観光再生のために新たなマーケットを開

発しようという発想と結びついて伊勢志摩バリアフリーツアースセンターが設立された。

日本で初めて障がい者や高齢者を、マーケット（お客様）としてとらえたのである。

今、四名のスタッフがバリアフリー観光情報の調査収集と発信、観光地のバリアフリー化と啓発活動などを行っている。

旅の提案は、

「パーソナルバリアフリー基準」※

基準と言ってもひとりひとり旅行者の希望、目的、体調、身体の障害に合わせた計画を作るという基準、型にはまったものはない。行ける所ではなく行きたい観光スポット、温泉宿の手配、遊び（釣り・スキューバダイビング・苺狩りetc）、公衆トイレな



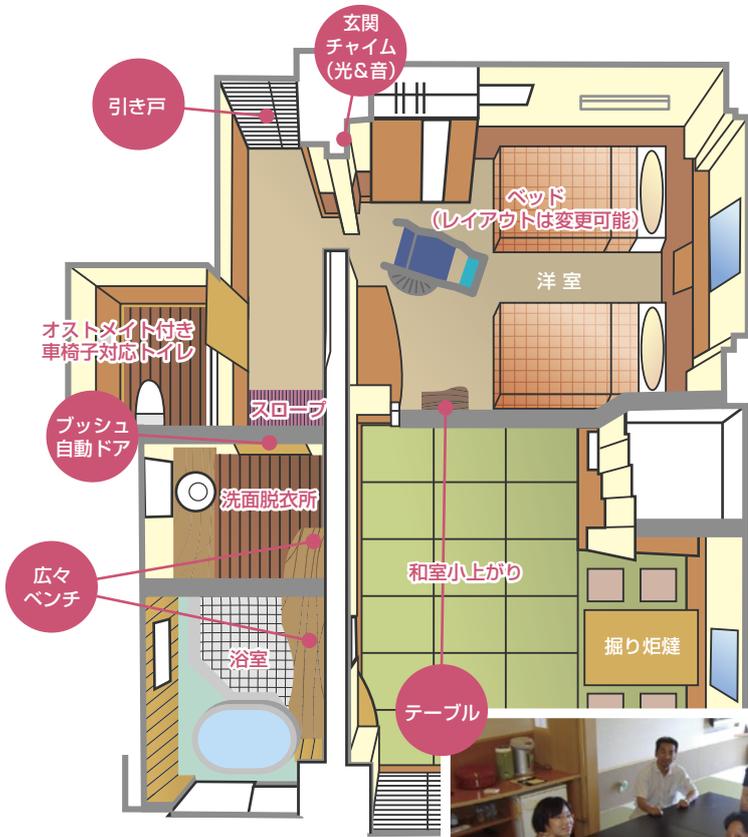
どの情報を提供する。同行する家族の方にも旅を楽しんでもらえるように入浴介助のヘルパー斡旋、介助ボランティアの紹介もする。しかも、案内は無料！

「お客様が私達を育ててくれました。行きたい！という気持ちの強さ(積極度)によって同じ場所でもバリアーの高さは違ってきます。車いすに集まる視線も障害物。社会の中に普通にいれば誰も気にしない」。観光業者でも福祉関係者でもない彼女の言葉は新鮮だ。

バリアフリーなおもてなし

調査は、実際に現地へ行って行う。担当するのは、視覚、聴覚、下肢などさまざまなハンディを持った地元の障がい者で組織する20人の専門員。活動的な専門員らとの出会いに、ある内気な車いすの少女がつぶやいた。「私も遊んでもいいんや」。その後、生まれ変わったように明るく積極的な女性になった。

一方で受け入れる観光事業所側の相談にも応じる。宿泊施設のユニバーサ



扇芳閣のリゾート感あふれるユニバーサルデザインルーム(定員5名)。お客様の要望でツインとファミリータイプ(計3室)に改修。



車いすのまま食事ができるダイニングテーブルも設置可能。



三重県立鳥羽高等学校「観光とバリアフリー」の授業風景。



三重交通CANばす。伊勢・二見・鳥羽周遊バス。



カモメの遊歩道のベンチは座面が開閉式。鳥羽港を眺めるあゆみさんと幸一さん。



車いす、水陸両用車いす、ベビーカーを旅行期間中レンタルできる。(無料)

「バリアフリー化推進功労者大臣表彰」とは

国土交通分野におけるバリアフリー化の推進に多大な貢献が認められた個人又は団体を表彰し、優れた取り組みを広く普及させ奨励することを目的として創設された表彰制度。

NPO法人 伊勢志摩バリアフリーツアーセンター
〒517-0011 鳥羽市鳥羽1丁目2383-13 鳥羽一番街1F
TEL.0599-21-0550 FAX.0599-21-0585
URL <http://www.barifuri.com> E-MAIL ishishima@barifuri.com
9:00am~5:30pm 木曜定休

ルルームの設計アドバイスもその一つ。平成22年10月現在、地域に18施設23室と倍増した。しかし、ハード面は劇的に変わってはいないと言う。何が一番変わったか？それは人―旅館の従業員。かまえていた地元の障がい者団体。気にかけてくれる町の人々。足りないハードを補う協力者が増えた。「外出したいのに身体が効かない人が玄関で躊躇している。その人が扉をちよつと開けた時に、天岩戸神話の神々のように、外は楽しいよ！」と扉

を開くお手伝いをする。将来は、セクターの収益事業を確立し、どこでもバリアフリー旅行ができるように全国ネットワークでつなげたい。穏やかな表情の下に壮大な夢と情熱があふれていた。社会はみんなで作る。訪れる人に優しいバリアフリーのまちは、そこに住む人が心優しい暮らしやすいまちなった。

※バリアフリーの評価基準ではなく観光客に合わせてバリアフリー観光を提供する精神と手法の総称